

新幹線乗員欠員で運転 安全上、大問題だ！ 車掌を3人体制に戻せ！

3月のダイヤ改正で、新幹線の車掌は3人から2人に削減されました。その分、車掌が行っていた業務の一部がパーサーに委託されました。従って「のぞみ」の場合、車掌2人とパーサー2人（チーフマネージャーとサブマネージャー）の計4人が乗務していなければなりません。しかし、パーサーが1名しか乗務していない列車があることが発覚しました。

新幹線鉄道事業本部は「仕方がないことだ」という見解を示しました。本部は、4月27日に開催した経営懇談会の場で、JR東海パッセンジャーズ（JRCP）との契約が不履行であるのではないかと指摘しました。会社（本社）は「地方で議論する内容だ」として、議論を避けようとした。JRCPとの契約は地方が行っているものではありません。本社が行っているのです。

そして、会社は「資格を有している人間が不足していたわけではない。諸般の事情があった。資格を有している者が不足をしていない以上は、契約をしっかりと守られた」と言い訳を並べたのです。JR東海とJRCPとの契約は、パーサー2名です。明らかに契約違反です。

新幹線車掌の削減はパーサー2人乗務（「のぞみ」「ひかり」）が前提で、パーサーが安全確保の業務も担っています（そもそも、満足な教育を受けていないパーサーに任せるのも問題だが）。パーサーの欠員で列車を運行させたということは、安全をおろそかにしたという証左です。会社はお客様の安全を真剣に考えているのでしょうか。

新幹線乗務員職場では、以前から「JRCPの要員不足のための出向だ」という声が上がっていました。JR東海からJRCPに出向している社員が多くいますが、それでもJRCPの要員は不足しているのでしょうか。

JR東海労は強く要求します。新幹線車掌を元通りにせよ！ JRCPの労働条件・待遇を改善せよ！